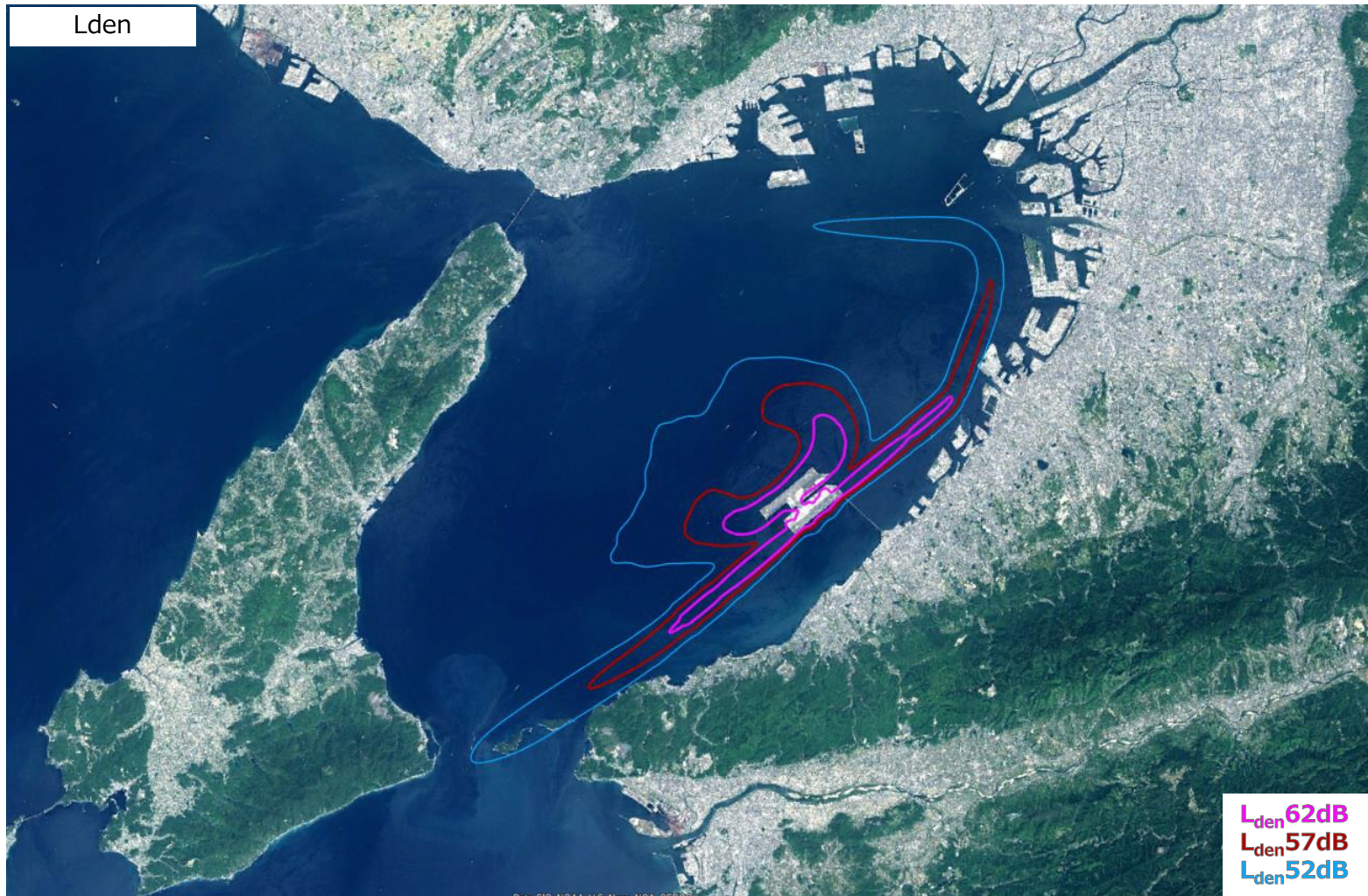


関西国際空港 航空機騒音予測図 (暫定案)

概要版

- 全ての陸域において、環境基準以下となりました。
- 2期事業アセスメント時の騒音予測図と比較して、範囲が縮小しました。



《予測条件》
国土交通省から提示された飛行ルートを標準飛行経路とし、最も厳しいケースを想定した予測を行った。

《予測モデル》

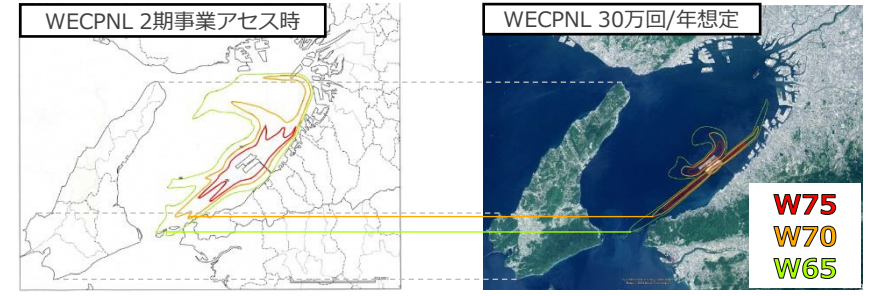
- ◆ Lden57・62、WECPNL（以下、W値）70・75
航空機騒音予測システムJCABモデル^{※1}
- ◆ Lden52、W値65
JCABモデルをベースとした関西独自モデル^{※2}

【航空機騒音に係る環境基準値】

地域の類型		Lden	W値 (旧環境基準)
I	専ら住居の用に供される地域	57dB以下	70以下
II	I以外の地域	62dB以下	75以下

地域の類型は都道府県知事が指定（淡路島は指定されていないが、参照値として比較評価）

【参考 2期事業アセスメント時との比較】



【地図出典：国土地理院ウェブサイト】

(※1) 国土交通省の航空機騒音予測モデルであるJCABモデルは、指標が現在のLdenに変更される前の「航空機騒音に係る環境基準について」で規定されていたW値70（Lden57相当）、W値75（Lden62相当）以上の航空機騒音レベルの再現を主目的としているため、W値65、Lden52については、JCABモデルをベースとした関西独自モデルにて作成。W値75、70に対応するLdenの値はそれぞれ62dB、57dBとなるが、これらの値はあくまで統計的に適したものを設定しているため、W値75、70の騒音がすべてLdenでは62dB、57dBになるとはかぎらない。

(※2) 関西独自モデルとは、JCABモデルをベースに、関西独自のデータ補正を行ったものであり、関西地域の新飛行経路案に対応するため、高度制限が必要な箇所についてプロファイルの高度補正を行ったもの。